

なでしこ

令和7年10月1日
第317号

機関誌「なでしこ」は尼崎市内各地域で青少年の健全育成を見守る
少年補導委員による情報誌です。

「なでしこ」の花言葉は「注意する・さとす」です。

子どもの頭を撫でながらさとしてもらいたいという願いを込めています。

発行：尼崎市少年補導委員連絡協議会

事務局：尼崎市教育委員会事務局

社会教育課 人権教育・愛護担当

【所在地】尼崎市三反田町1丁目1-1

【電話】06-6423-8501

～ 少年補導委員PRチラシについて ～

少年補導委員ってどんなことしてるの？

誰でもなれるの？等

尼崎市少年補導委員について、保護者の皆様にも知っていただきたく、

この度、尼崎市少年補導委員の広報チラシを作成しました。

市立幼稚園、小学校、中学校の児童・生徒に配布していただきました。

尼崎市少年補導委員を ご存じですか？

01. 少年補導委員って何？
子どもたちと地域の見守りです。国ごとで地域の巡回を行い、街のなかを見守りしています。

02. 担任でなくてもいいの？
毎朝担任はありますが、地域にお住いの方なら、どんな方でも活動していただけます。

03. 活動内容は？
ひと月に2回以上、1回30分～1時間程度で地域の巡回をおこないます。活動に対し謝金をお支払いたします。

04. 任期はあるの？
2年任期です。次の任期は令和8年4月1日～令和10年3月31日まで。

05. 思いや心

尼崎市少年補導委員にご興味のある方、やってみたいと思われる方は、社会教育課までお問い合わせください。

尼崎市教育委員会 社会教育課 人権教育・愛護担当
TEL 06-6423-8501
e-mail amc-igotantou@city.amagasaki.hyogo.jp

～ パネル展（11月開催）について ～

パネル展を開催します。

尼崎市では、こども家庭庁が提唱する「秋のこどもまんなか月間」の取組の一環として、子ども達の身近に起こる問題などを取り上げたパネル展を開催しています。

パネルの中には子ども達の健全育成、非行化の防止のため、日々巡回活動や啓発活動を行っている尼崎市少年補導委員の活動内容についてもご紹介させていただいていますので、ぜひパネル展をご覧ください

～ 立花地区 バス研修に行っていました～

立花地区少年補導委員連絡会では9月9日にバス研修を実施しました。

行き先は、社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 兵庫県立清水が丘学園です。

この学園は、全国的にも数少ない子どもの心理治療施設で、明石市西部の緑豊かな自然の中にあります。児童精神医学、心理臨床、児童福祉、学校教育の各専門スタッフが連携し、不登校や家族関係の問題などの悩みを抱えた子どもや親への総合的な援助を行っています。

どのような悩みや子育ての悩みを抱えて相談に来られるのか、課題はどのようなことがあるのかを施設見学と講話を通し、補導委員の資質向上に努めました。





～ 各地区の活動報告から ～



中央地区

9月に入り、少しずつ日差しや朝晩の風に秋の気配を感じられるようになりました。地域ではだんじり祭りの準備が進んでいます。幟や提灯、休憩所の設置、会場になる公園の清掃、夜には太鼓の練習の音が聞こえてきます。午前の補導活動中、シルバー人材センターの方たちが公園の除草作業にいられていて、「ご苦労様です」「ありがとうございます」と挨拶を交わし、いろんな人に支えられて地域の行事や生活が成り立っているのだと改めて思いました。私たち補導委員も地域を支える一員として、地道に活動していきたいと思っています。

小田地区

猛暑の中、公園は子ども達の姿を見かけませんが、各地区で行われる夏祭り、盆踊りは大勢の人で賑わっていました。地域が元気に盛り上がる様子はとても良いものです。一方で新しく整備され綺麗になった場所に落書きされているのを見てとても残念に思いました。過ごしやすい季節になります。これからも地域の子供たちが安心して過ごせるよう、見守りを続けて行きたいと思っています。

大庄地区

今年の夏休みは、昼間に公園で遊ぶ子ども達をあまり見かけませんでした。でも夏祭りとなると、すごい賑わいでした。その中、今年は中高生の喫煙・飲酒等が、すごく目立ちました。再三の注意も無視され、中には親子で喫煙所に入ろうとして断られたこともあったようです。祭り以外でもバイクの無免許運転、コンビニでの迷惑行為もありました。私達補導委員は、温かい目で子ども達を見守る大切さを再確認した今年の夏でした。

立花地区

放課後の居場所作りをされている駄菓子屋さんからネグレクトの疑いがもたれる小学2年女児の情報を得るが、後日地域課と連携できた旨報告を受けました。しかし状況を見守るためにも補導時間を女児の活動時間に合わせて変更し巡回を続けています。夏休み中、近くの川でザリガニ釣りをする児童を良く見かけたので、その都度声掛けをし注意喚起しました。各地の盆踊りは大変盛況で、夜店には長蛇の列ができ、子どもたちの賑やかな声が溢れていました。

武庫地区

夏休み中は外で子供達を見かけることも少なかったが、公園を中心に週1回見廻りをしました。放置自転車の通報を何件かしました。先日ピンクベストを着て集合している時に、「皆さんはいつも何をされているのですか？」と声をかけられました。補導委員について説明すると「こんなに暑いのにありがとうございます」と感謝していただきました。班全員で嬉しく思い、気を引き締めて補導活動を続けています。

園田地区

連日の猛暑で公園から子どもたちの姿が消えた夏休みが終わり、二学期が始まりました。補導委員としては、登下校時の安全確認や体調不良への気配りを大切にし、暑さによる疲れや生活リズムの乱れにも目を向けることが求められます。子どもたちの小さな変化に気づき、安心して学校生活を送れるよう温かく声をかけながら見守る姿勢が大切だと感じます。

コラム

2学期になってもまだまだ熱中症の心配をしないといけないこの暑さは、いつまで続くのかと思いつつも。少しずつ日没が早くなっているのは感じられるようになりました。このなでしこが発行される10月には秋らしくなっていますよね！子どもたちが充実した学校生活をおくることができるようにと願っています。

編集後記

ゆっくり、ゆっくり。
スロジョ（スロージョギング）って知ってますか？
やり方
歩くくらいのスピードで、姿勢よく、1歩につき10センチから20センチの歩幅で、小刻みなステップでテンポよく走ります。1日30分（10分を3回など、小分けにしてもオッケー）走ってみよう。
効果
エネルギー消費量は、ウォーキングの2倍。足への負担が少ない。初心者でも始めやすく継続しやすい。ストレス発散、リフレッシュ効果も得られる。
スポーツの秋、チャレンジしてみませんか？